

対談

石井まさひろ

増田 寛也

東京大学公共政策大学院
客員教授

かつて岩手県知事を3期努められ
また総務大臣として国政での経験も豊富な
増田寛也先生をお招きし、
これからの国土づくりをテーマに
対談させていただきました。

真に豊かな分散型国土形成の 実現を政治主導で。

石井 私が岡山県知事の職にあった頃、増田先生も同時期に岩手県知事をされていて、全国知事会などで大いに議論を戦わせました。道州制の実現へ向け、ともに知事会の中で地方分権のための政策を進めてきた間柄でもあります。今日はこれからの国土づくりについて、増田先生のお考えをいろいろとお聞かせいただければと思います。

増田 全国知事会で当時石井先生が道州制対策特別委員会の委員長として、将来の地域づくりを熱心に語られていたことをよく覚えています。これからの国土づくりについては、私はまず東京の現状を認識することが重要だと思っています。東京は政治経済の中心であり、若い人たちが憧れる都市でもあります。同時に、東京の持っているリスクも冷静に考えておかなければなりません。首都直下地震や台風などの災害リスク、それから今はコロナ禍もあります。これまで東京への人口集中は経済的にメリットでしたが、今後は逆に人の分散が求められてきます。

石井 全く同感です。災害対策では安全なところへの移住は当然です。また、人の分散については、私がかねてより首都圏から地方へ分散することの必要性を主張してきました。この実現にあたっては、やはり「隗(かい)より始めよ」で、まずは政府関係機関、次に企業、そして大学へと一体で進めていくことが重要です。最近、東京の大企業では兼業や副業が認められ、そういう流れを応援していく体制も必要です。地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていく「デジタル田園都市国家構想」は、岸田内閣の大きな政策の一つです。私も経済産業副大臣としてしっかりと政策を進めていきたいと思っています。

増田 今、若い人は地方への関心を持ちはじめています。国土交通省作成のデータをみると、東京は確かに可処分所得は高いのですが、通勤時間や生活全般にかかるコストが高く、本当の意味で豊かな生活につながる所得は実は東京が最下位。岡山県は、可処分所得の順位は29番目ですが、生活の豊かさでは上位ベスト10に入っています。真の豊かさとは何かを国土構想の中でしっかりと考え、分散型の国土形成の実現に結びつけていくのが政治の役割ではないでしょうか。

※本誌に掲載する写真のうちマスクをしていないものは、写真撮影のため一時的にマスクを外しております。

増田 寛也氏

1951年東京都生まれ。77年東京大学法学部を卒業後、建設省(当時)に入省。94年退官後、翌95年岩手県知事に当選、3期県知事を務める。2007年～08年総務大臣、内閣府特命担当大臣。現在、日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長、東京大学公共政策大学院客員教授。

石井 増田先生のご意見を私たち政治家がしっかりと受け止めて、分散型国土形成に向けての政策を力強く進めていかなければいけないと改めて痛感しました。

私はこの度、経済産業副大臣を拝命いたしました。経済産業省は、経済政策・成長戦略を推し進め、まさに成長と分配の好循環を果たしていく使命を担っています。同時に、中小企業政策、エネルギー政策を担います。再生可能エネルギーでは、岡山県知事時代より太陽光発電やバイオマス発電も全国に先駆けて取り組んできています。こうした地域発の再生可能エネルギーを増やししながら、日本全体としてのエネルギーはどうあるべきかを模索をしていきたいと考えています。

増田 日本の企業のほとんどは中小企業で、今その多くがコロナ禍で大変な苦境に陥っています。私の出身地である岩手県でも同様です。エネルギー政策を進めていく上で、体力のない中小企業がこれに取り組むのは実はかなり大変です。そのあたりの事情に目配りある政策の推進をお願いできればと思います。

石井 承知しました。頑張ってください。本日は大変お忙しい中、お時間をいただきまして誠にありがとうございました。増田先生の益々のご活躍を祈念しております。

増田 どうもありがとうございました。



晴れ晴れ
ONLINE

石井まさひろ後援会報
晴れ晴れオンラインVol.29

誠実に
前向きに!

地方を、熱くする

経済産業副大臣

参議院議員

石井まさひろ

ごあいさつ

昨年10月3日に発足した岸田内閣にて、10月6日付けで経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣を拝命いたしました。就任以降、めまぐるしい日々の中、エネルギー・環境対策、新型コロナ対応・中小企業対策、成長戦略・経済対策、経済安全保障、福島第一原発に係る廃炉・汚染水・処理水対策と福島の復興等の重要課題に日々懸命に取り組んでおります。

さて、私は岡山県知事を4期16年努めた後、2013年からは参議院議員として、振り返れば25年にわたる歩みの中、「地方を、熱くする」をキャッチフレーズに掲げ、地元・岡山県をはじめとする「地方の活性化」と「地方創生」に首尾一貫して取り組んでまいりました。岸田内閣が掲げる「デジタル田園都市国家構想」は、デジタルを活用し、地方と都市の差を縮めていく大変重要な政策で、私も経済産業副大臣としてこうしたこれまでの経験を最大限活用しながら必ず結果につなげていく覚悟です。脱・東京一極集中、分散型国土形成が叫ばれる中、豊かな自然環境に恵まれ、暮らしやすい岡山県は、大きな可能性を持っていると確信しています。現在、コロナ禍で大変な思いをされている県民の皆様、企業や各種団体の皆様のお役に立ちながら、未来にしっかりと目を向け、確かな希望に満ちた「地方を主体とした国土づくり」を不退転の決意で実行してまいります。

引き続き変わらぬご支援のほど、よろしくお願いたします。

石井正弘

自由民主党 岡山県参議院選挙区第一支部

石井まさひろ 事務所 [E-mail] info@ishii-masahiro.jp

岡山事務所 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目9番15号
TEL.086-233-6600 FAX.086-233-7770

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1番1号 参議院議員会館1214号室
TEL.03-6550-1214 (直通) FAX.03-6551-1214
TEL.03-3581-3111 (代表)

メルマガ会員募集中!!

詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://ishii-masahiro.jp>



石井正弘 公式Facebook

<https://www.facebook.com/masahiro.ishii.3511>



もっと地方を元気に。もっと岡山に笑顔を。 地方創生 第二幕へ



東京での議員活動

岸田新内閣発足に伴い経済産業副大臣を拝命 (写真:官邸HPより)

徳仁 石井正弘
内閣 経済産業副大臣に就任する
内閣府副大臣 石井正弘
令和三年十月六日

農政課題に係る要請および意見交換会に自民党岡山県連会長として代表参加

岡山県石油政治連盟勉強会

自民党岡山県連女性局合同会議

岡山県石油政治連盟勉強会

令和4年度 税制改正要望会議

岡山県法人会連合会 税制改正要望会議

岡山市市政懇談会

倉敷市市政懇談会

岡山県法人会連合会 税制改正要望会議

憲法審査会幹事として 国民投票法案の質疑

行政監視委員会筆頭理事として 本会議質疑

政務三役一丸で 経済産業行政を全力で推進

経済産業副大臣として答弁 (経済産業委員会において)

京橋朝市

道の駅山陽道やかげ宿開業式典

GREENable HIRUZEN竣工記念式典

徳与寺 十三参り

長谷川鶴山遺墨展

岡山県戦没者遺族代表者大会

岡山県小売酒販組合連合会要望

岡山県運送事業協同組合連合会要望

廃炉・汚染水・処理水対策 福島評議会で議長として挨拶

福島第一原子力発電所視察

日仏ビジネスサミットで開会挨拶

日本・太平洋島嶼国経済フォーラム

農政課題に係る要請および意見交換会に自民党岡山県連会長として代表参加

岡山県石油政治連盟勉強会

自民党岡山県連女性局合同会議

岡山県石油政治連盟勉強会

令和4年度 税制改正要望会議

岡山県法人会連合会 税制改正要望会議

岡山市市政懇談会

倉敷市市政懇談会

岡山県法人会連合会 税制改正要望会議

憲法審査会幹事として 国民投票法案の質疑

行政監視委員会筆頭理事として 本会議質疑

政務三役一丸で 経済産業行政を全力で推進

経済産業副大臣として答弁 (経済産業委員会において)

京橋朝市

道の駅山陽道やかげ宿開業式典

GREENable HIRUZEN竣工記念式典

徳与寺 十三参り

長谷川鶴山遺墨展

岡山県戦没者遺族代表者大会

岡山県小売酒販組合連合会要望

岡山県運送事業協同組合連合会要望

2021 衆議院議員総選挙 自民党岡山県連会長として各候補者を全力で応援

あいさつ一部 拡大対面会

岡山県戦没者遺族代表者大会

岡山県小売酒販組合連合会要望

岡山県運送事業協同組合連合会要望

さらに前へ進む 橋本がく

「石井まさひろ君を激励する会」 講師：増田 寛也 東京大学公共政策大学院 客員教授 コロナ対策で人数を制限して、セミナー形式で開催しました。

福島ロボットテストフィールドで 水中ロボットの操縦体験

全国知事会で答弁

中国経済連合会からの要望(副大臣室)

細田 博之 衆議院議長

世耕 弘成 参議院自民党幹事長

増田 寛也 元総務大臣

石井まさひろ プロフィール (役職)

- 令和3年10月6日 経済産業副大臣兼内閣府副大臣 就任
- 令和2年～3年
 - 〈参議院〉
 - 総務委員会委員
 - 行政監視委員会理事
 - 憲法審査会幹事
 - 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員
 - 〈自由民主党〉
 - 税制調査会幹事
 - 参議院自民党政策審議会副会長
 - 政務調査会国土交通部会長代理
 - 団体総局次長
 - 地方行政調査会幹事長
 - 行政改革推進本部事務局次長
 - 消費者問題調査会副会長
 - 〈その他〉
 - 岡山県水島港インターナショナルトレード協議会顧問
 - 公益社団法人日本道路協会顧問
 - 全国土地改良事業団体連合会理事
 - 岡山県土地改良事業団体連合会会長